

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料 1	児童学科（児童学専攻・育児支援専攻）、児童教育学科の入試状況（5年間）	2
資料 2	渡邊辰五郎（自主自律）入試のエントリー状況（5年間）	4
資料 3	児童学科（児童学専攻・育児支援専攻）・児童教育学科 2022年度総合型選抜・学校推薦型選抜入試状況（対前年度比較）	5
資料 4	『志望したい大学』ランキング	6
資料 5	オープンキャンパス参加状況.....	7
資料 6	18歳人口予測（女子：エリア別：2020～2032年）	8
資料 7	大学進学率の推移（現役：エリア別：2011～2020年）	9
資料 8	大学進学率（現役：都道府県別：2020年）	10
資料 9	2021年実就職ランキング《卒業者数1000人以上》	11
資料 10	児童学科・児童教育学科：過去5年就職率.....	12
資料 11	新子育て安心プランの概要	13
資料 12	女性就職率（25～44歳）と保育所等の利用率の推移.....	14

児童学科（児童学専攻・育児支援専攻）、児童教育学科の入試状況（5年間）

学科・専攻	定員	入試年度		選抜区分	志願者	合格者	倍率	手続者	合計	超過率
		年次	区分							
児童学科 児童学専攻	105	2017	H29	一般選抜	977	215	4.5	86	122	116%
				推薦型選抜	66	34	1.9	34		
				総合型選抜	2	2	1.0	2		
		2018	H30	一般選抜	865	223	3.9	78	115	110%
				推薦型選抜	53	35	1.5	35		
				総合型選抜	2	2	1.0	2		
		2019	H31	一般選抜	727	184	4.0	72	112	107%
				推薦型選抜	52	37	1.4	37		
				総合型選抜	3	3	1.0	3		
		2020	R2	一般選抜	747	205	3.6	74	111	106%
				推薦型選抜	67	34	2.0	34		
				総合型選抜	3	3	1.0	3		
		2021	R3	一般選抜	554	219	2.5	75	111	106%
				推薦型選抜	31	30	1.0	30		
				総合型選抜	6	6	1.0	6		

学科・専攻	定員	入試年度		選抜区分	志願者	合格者	倍率	手続者	合計	超過率
		年次	区分							
児童学科 育児支援専攻	105	2017	H29	一般選抜	615	197	3.1	70	118	112%
				推薦型選抜	60	46	1.3	46		
				総合型選抜	2	2	1.0	2		
		2018	H30	一般選抜	674	230	2.9	67	111	106%
				推薦型選抜	51	41	1.2	41		
				総合型選抜	3	3	1.0	3		
		2019	H31	一般選抜	692	211	3.3	67	108	103%
				推薦型選抜	57	39	1.5	38		
				総合型選抜	3	3	1.0	3		
		2020	R2	一般選抜	552	184	3.0	68	109	104%
				推薦型選抜	49	37	1.3	37		
				総合型選抜	4	4	1.0	4		
		2021	R3	一般選抜	317	193	1.6	44	87	83%
				推薦型選抜	45	37	1.2	37		
				総合型選抜	6	6	1.0	6		

学科・専攻	定員	入試年度		選抜区分	志願者	合格者	倍率	手続者	合計	超過率
児童教育学科	85	2017	H29	一般選抜	652	221	3.0	75	91	107%
				推薦型選抜	16	14	1.1	14		
				総合型選抜	2	2	1.0	2		
		2018	H30	一般選抜	452	221	2.0	76	95	112%
				推薦型選抜	19	18	1.1	17		
				総合型選抜	2	2	1.0	2		
		2019	H31	一般選抜	558	160	3.5	56	86	101%
				推薦型選抜	26	24	1.1	24		
				総合型選抜	6	6	1.0	6		
		2020	R2	一般選抜	582	138	4.2	47	90	106%
				推薦型選抜	43	36	1.2	36		
				総合型選抜	7	7	1.0	7		
		2021	R3	一般選抜	302	194	1.6	68	94	111%
				推薦型選抜	19	19	1.0	19		
				総合型選抜	7	7	1.0	7		

※児童学科（児童学専攻・育児支援専攻）、児童教育学科ともに、その他の選抜区分として社会人・留学生・帰国子女入学試験を設けているが、5年間に渡り志願者なし。

渡邊辰五郎（自主自律）入試のエントリー状況（5年間）

学科 区分		児 童	育 児 支 援	児 童 教 育	栄 養	管 理 栄 養	服 飾 美 術	環 境 教 育	英 語 コ ミュ ニ ケー ション	心 理 カ ウン セ リング	教 育 福 祉	看 護	作 業	理 学	子 ど も 支 援	保 育	栄 養	計
エントリー数／合格者数／入学者数	2018	4	16	3	7	—	2	5	3	7	2	7	—	—	4	13	0	73
		2	3	2	2	—	3	2	2	1	2	2	—	—	4	7	0	32
		2	3	2	2	—	3	2	2	1	2	2	—	—	4	7	0	32
	2019	21	12	7	10	—	10	2	13	23	9	3	3	5	15	20	6	159
		3	3	6	2	—	5	2	4	2	4	2	3	5	8	10	6	65
		3	3	6	2	—	5	2	4	2	4	1	3	5	8	10	6	64
	2020	19	15	27	15	—	22	3	7	31	13	19	9	8	25	17	5	235
		3	4	7	3	—	5	3	4	2	2	4	9	8	11	17	5	87
		3	4	7	3	—	5	3	4	2	2	4	8	8	11	17	5	86
	2021	12	17	11	12		11	3	6	20	7	6	5	5	25	23	9	172
		6	6	7	4		5	2	5	4	4	4	5	5	15	19	7	98
		6	6	7	4		5	2	5	4	4	4	5	5	15	19	7	98
	2022	45	26	13	38	71	21	3	6	36	10	14	6	8	16	41	8	362
		23	20	11	6	2	15	2	5	3	8	7	4	6	7	21	5	145
		23	20	11	6	2	15	2	5	3	8	7	4	6	7	21	5	145

※渡邊辰五郎（自主自律）入試は2017年度入試より実施（管理栄養士専攻は2022年度より実施）

※本年度（2022）の入学者数は入学手続き完了者数

児童学科（児童学専攻・育児支援専攻）・児童教育学科

2022年度総合型選抜・学校推薦型選抜入試状況（対前年度比較）

1. 児童学科児童学専攻(定員 105名)

年度	志願者(エントリー者)		合格者		倍率		手続き者		充足率	
	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
総合型選抜	12	45	6	23	2.0	2.0	6	23		
学校推薦型選抜	31	73	30	73	1.0	1.0	30	73		
合計	43	118	36	96	1.2	1.2	36	96	34%	91%

2. 児童学科育児支援専攻(定員 105名)

年度	志願者(エントリー者)		合格者		倍率		手続き者		充足率	
	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
総合型選抜	17	26	6	20	2.8	1.3	6	20		
学校推薦型選抜	45	30	37	30	1.2	1.0	37	30		
合計	62	56	43	50	1.4	1.2	43	50	41%	48%

3. 児童教育学科(定員 85名)

年度	志願者(エントリー者)		合格者		倍率		手続き者		充足率	
	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
総合型選抜	11	13	7	11	1.6	1.2	7	11		
学校推薦型選抜	19	30	19	30	1.0	1.0	19	30		
合計	30	43	26	41	1.2	1.0	26	41	31%	48%

【資料4】『志望したい大学』ランキング

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 書類等の利用範囲

「進学ブランド力調査 2021」志望したい大学ランキング

<https://souken.shingakunet.com/research/.assets/2021brand1.pdf>

3 ページ「関東『志望したい大学』ランキング」の表のうち、女子のランキングの一部を表として加工した。

【資料5】オープンキャンパス参加状況

1. 出典

株式会社朝日新聞出版

2. 書類等の利用範囲

「大学ランキング2021」（AERA ムック） 369 ページ「オープンキャンパス参加状況」

【資料6】18歳人口予測（女子：エリア別：2020～2032年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 書類等の利用範囲

「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.82 2021年3月号」

https://souken.shingakunet.com/research/.assets/202103_souken_report.pdf

8ページ「18歳人口予測（女子：エリア別：2020～2032年）」

【資料7】大学進学率の推移（現役：エリア別：2011～2020年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 書類等の利用範囲

「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.82 2021年3月号」

https://souken.shingakunet.com/research/.assets/202103_souken_report.pdf

9ページ「大学進学率の推移（現役：エリア別：2011～2020年）」

【資料 8】 大学進学率の推移（現役：都道府県別：2020 年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 書類等の利用範囲

「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.82 2021 年 3 月号」

https://souken.shingakunet.com/research/.assets/202103_souken_report.pdf

12 ページ「大学進学率の推移（現役：都道府県別：2020 年）」

【資料9】2021年実就職ランキング《卒業者数1000人以上》

1. 出典

株式会社大学通信 大学通信 ONLINE

2. 書類等の利用範囲

「2021年実就職率ランキング」

<https://univ-online.com/article/career/16818/>

「卒業生数1,000人以上」のランキングの一部を抜粋して加工した。

児童学科・児童教育学科：過去5年就職率

児童学科

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
就職率 (%)	97.9	97.9	98.2	97.8	96.7	97.7

児童教育学科

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
就職率 (%)	90.2	98.1	97.7	99.1	95.6	96.1

※就職率＝就職決定者／（卒業者数－大学院進学者数）

学生支援センターキャリア支援課資料より引用

新子育て安心プランの概要

○ **令和3年度から令和6年度末までの4年間で約14万人分の保育の受け皿を整備する。**

- ・第2期市町村子ども・子育て支援事業計画の積み上げを踏まえ、保育の受け皿を整備。
- ・できるだけ早く待機児童の解消を目指すとともに、女性(25～44歳)の就業率の上昇に対応。
(参考) 平成31年：77.7%、現行の子育て安心プランは80%に対応、令和7年の政府目標：82% (第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)



○ **新子育て安心プランにおける支援のポイント**

① **地域の特性に応じた支援**

- **保育ニーズが増加している地域への支援**
(例)
・新子育て安心プランに参加する自治体への**整備費等の補助率の高上げ**
- **マッチングの促進が必要な地域への支援**
(例)
・**保育コンシェルジュによる相談支援**の拡充
(待機児童数が50人未満である市区町村でも新子育て安心プランに参画すれば利用可能とする)
・**巡回バス等による送迎**に対する支援の拡充
(送迎バスの台数や保育士の配置に応じたきめ細かな支援を行う)
- **人口減少地域の保育の在り方の検討**

② **魅力向上を通じた保育士の確保**

(例)

- ・**保育補助者の活躍促進** (「勤務時間30時間以下」との補助要件を撤廃)
- ・**短時間勤務の保育士の活躍促進**
(待機児童が存在する市町村において各クラスで常勤保育士1名必須との規制をなくし、それに代えて2名の短時間保育士で可とする)
- ・**保育士・保育所支援センターの機能強化**
(現職保育士の就業継続に向けた相談を補助対象に追加)

③ **地域のあらゆる子育て資源の活用**

(例)

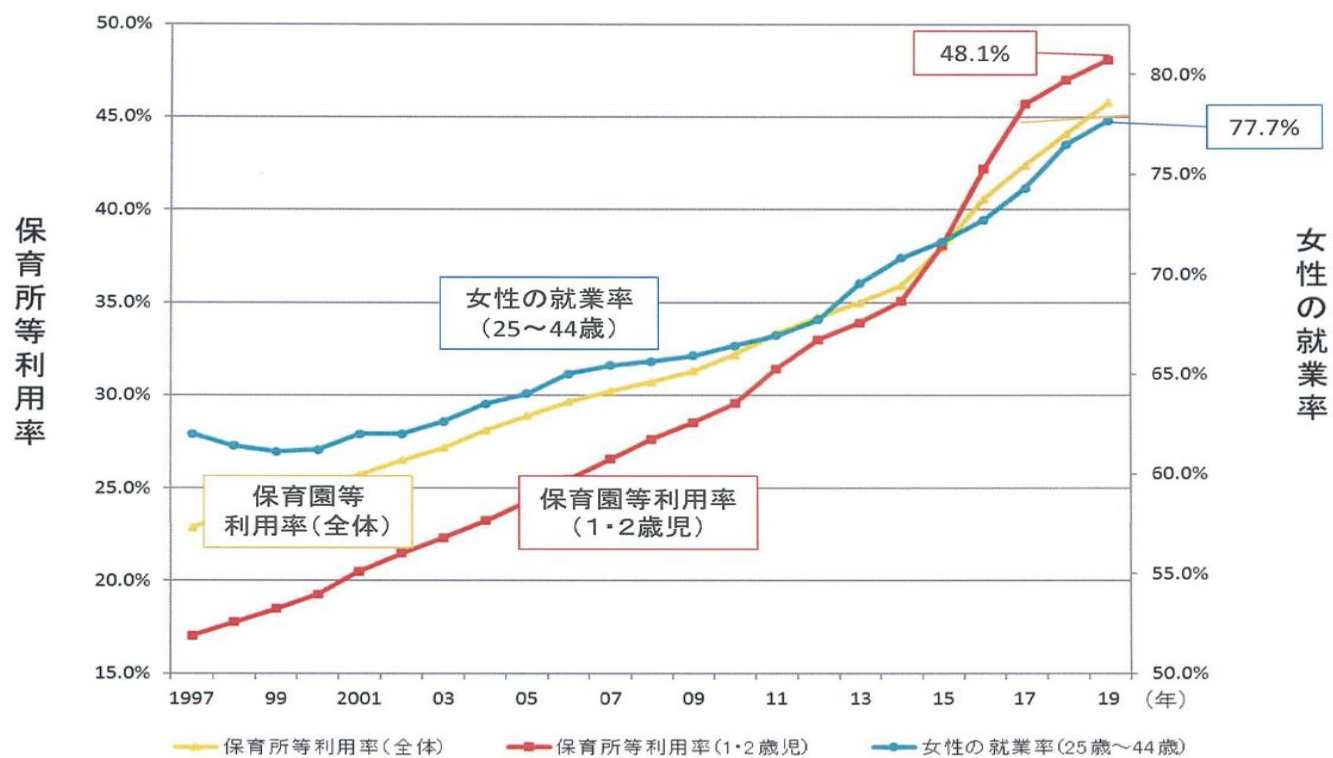
- ・**幼稚園の空きスペースを活用した預かり保育** (施設改修等の補助を新設)
- ・**や小規模保育** (待機児童が存在する市区町村において利用定員の上限(19人)を弾力化(3人増し→6人増しまで可とする)) **の推進**
- ・**ベビーシッターの利用料助成の非課税化** (令和3年度税制改正に対応)
- ・**企業主導型ベビーシッターの利用補助の拡充** (1日1枚→1日2枚)
- ・**育児休業等取得に積極的に取り組む中小企業への助成事業の創設**

17

厚生労働省子ども家庭局保育課「保育を取り巻く状況について」(令和3年5月26日)より引用

女性就業率（25～44歳）と保育所等の利用率の推移

○女性の就業率（25～44歳）と1・2歳児保育利用率ともに、年々上昇傾向にある。



出典：総務省「労働力調査」等を基に厚生労働省保育課で作成

厚生労働省子ども家庭局保育課「保育を取り巻く状況について」（令和3年5月26日）より引用